

カレッジ防衛モニターの活動始動 「よこすかYYのりものフェスタ2014」見学

神奈川地本カレッジ防衛モニター 関 宏康

今回、私は大変光栄なことにカレッジ防衛モニターに選ばれた。その初めての活動は旧日本海軍の頃から歴史のある街、横須賀で開催された「よこすかYYのりものフェスタ」の見学だった。

問近でみた去年就役したばかりのヘリ搭載護衛艦である「てるつき」と、25年間日本の海を守り、今日も第一線で活躍している「ゆうぎり」。「ゆうぎり」は、最近の船には見られない無骨なフォルムから漂うメカとしての見栄えの良さが感じられる船であり、「てるつき」はステルス化を図るための直線的なラインがとて美しく、とてもスマートなシルエットの船であると感じた。

また、横須賀基地では、護衛艦だけでなく哨戒ヘリや陸上自衛隊で使用されている車両の展示、水中処分員の方々による小型舟艇でのデモンストレーション、ラッパ演奏、護衛艦搭載火器の稼働実演などをみる事が出来るとても貴重な機会であり、好天の中とても楽しい時間を過ごすことができた。その中でも小型舟艇のデモンストレーションはとて迫力があるものであった。私はカメラのファインダー越しに見ていたが、自分が思っていた以上の軽やかな動きに圧倒されながらシャッターを切っていた。見学中は疑問に思ったことに関して、自衛官の方に質問をすると懇切丁寧な回答で疑問が解消するだけでなく、同時に海上自衛隊という組織に関しての理解も深まった。

カレッジ防衛モニターとしてこの一年間、自衛隊の組織に関して理解を深めるだけでなく、私からそれらの情報を発信し、広く知ってもらえるように活動していきたい。



カレッジ防衛モニターとしての初仕事 YYのりものフェスタに参加して

神奈川地本カレッジ防衛モニター 片岡 初実

6月14日(土)、私はカレッジ防衛モニターとして初めての活動である「よこすかYYのりものフェスタ」に参加した。この日はモニター同士の初顔合わせでもありとても緊張した。横須賀に到着すると、護衛艦「てるつき」「ゆうぎり」がまず目に入った。護衛艦を実際に見る機会はほとんどなかったため、実際に見てまずその大きさに驚いた。一般に来場された方々にも護衛艦見学はとても人気で、強い日差しの中長時間並んだのは少し辛かったが、列の先頭になり中を見学できたとき、長時間並んだ甲斐があったと思った。それくらい護衛艦は大きく立派で様々な設備が整っており、このような大きな護衛艦が日本の海上を警備したりしているのだと思うと感慨深かった。

私は何度か自衛隊関連のイベントには行ったことがあるものの、自衛隊に関する知識は少ないので、カレッジ防衛モニターとしての活動を通して知っていき、様々な形で情報の発信もできたらと決意を新たに委嘱終了までしっかりと務めたいと思う。



よこすかYYのりものフェスタの感想 航空自衛隊中部航空音楽隊

神奈川地本カレッジ防衛モニター 野原 慧

6月14日(土)、私は横須賀に来た。よこすかYYのりものフェスタにカレッジ防衛モニターとしての初めての活動をするためだ。最初に海上自衛隊横須賀基地の会場に行き、まず目に飛び込んできたのは2隻の護衛艦。「てるつき」と「ゆうぎり」であった。その2隻のうち最初に「てるつき」を見学した。タラップから「てるつき」の後部甲板に行き、格納庫を見学。次に、前部甲板のほうへ行った。前部甲板にはフアラックス(高性能20ミリ機関砲(CIWS)、VLS(垂直発射システム))と主砲が見えた。「てるつき」を降りてから各自自由な時間を過ごし、食事をとり横須賀基地を離れた。三笠公園へは徒歩で向かった。30分くらいだったろうが暑い中、やっと到着。三笠公園にはシヨベルカー、乗り合いバス、陸上自衛隊の車両などが展示されていた。私は、迷彩服を着て陸上自衛隊の偵察オートバイに跨らせてもらい写真を撮ったとても貴重な体験ができて嬉しかった。

楽しい時間はたちまち過ぎて、自衛隊神奈川地方協力本部へ戻った。そして、委嘱状と記念品を受け取り、カレッジ防衛モニターとしての初めての活動を終えた。

正直にいうと艦艇を見学することは過去に何度か父と一緒に行ったことがあり、珍しいとは思わなかった。しかし、自分自身、艦艇が好きなのに「つき型」の最新型が見られたので感動した。さらに、陸上自衛隊の車両も問近に見たこともよかった。



迷彩服の試着をして偵察バイクに試乗する野原さん

